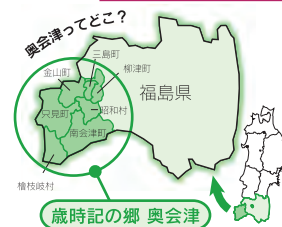


# 奥会津だより



土の中から掘り出された鮮やかな色  
畑から収穫される野菜たちはみな  
美しい色をまとっている  
主と人の手が生む見事な芸術品

写真：田沼隆之

# 一枚の写真から

柳津町立西山中学校 二年 飯塚 亜海



## 取材ノート

祖父：飯塚 勇寿(ゆうじ)さん

(昭和二十二年生 六十八歳)

孫：飯塚 亜海(あみ)さん

(平成十三年生 十五歳)

(西山中三年)



Q：亜海さん、この写真は、どのようにして見つけましたか？

亜海さん：昔のアルバムを見ていてこの写真にしました。

勇寿さん：ばあちゃん和妈妈が写っているからじやないの？

Q：須賀川の「松明あかし」というのが有名ですけど、たいまつあかし、というのは？

勇寿さん：この辺では、隣の砂子原(すなこはら)でもやっているんですよ。柳津ではたぶん八木沢と砂子原だけかなあ。由来は、年配の人から聞いたんだけど、江戸時代の中期頃、この村に神社が無かったので、三島町の大石田から分社のようにして祀ったそうです。その神様は、夜にやって来るので、松明あかしをしてお迎えしたんだそうです。

Q：なんという神社ですか？

勇寿さん：こは、伊夜比古(いよひこ)神社。

Q：ママは、何をしていますのしょうか？

勇寿さん：松明を焚いているところで、オガラボウってタイマ(麻)を使っています。水に浸して、繊維を取った残りをオガラと言ってます、ロウソクの代わりにもなりまして、約一メートルぐらいに束ねたオガラボウに火をつけて、「たいまつぶちを祝いましょー」って言って、それぞれが人の足元に打ち付けたんです。

Q：この写真に、じいちゃんも写っていませんか、どこにいたのしょう？

勇寿さん：その頃、消防団だったから、十メートルぐらいある松明の近くにいました。この日は、旧暦の九月十八日と決まっていたので、出雲大社への送り火なのかなあ。

Q：この白黒写真は誰が撮ったのしょうか？

勇寿さん：それは、私がカメラを持参して撮ったものです。

Q：この写真の現像はどうしましたか？

勇寿さん：写真屋さん。これは、坂下の諏訪神社近くの原写真屋さんだったなあ。

Q：亜海さん、この写真を見て感じたことは、？

亜海さん：ばあちゃんはまだ変わらない感じ……。

勇寿さん：十月の夜となると寒いから、ハンテンとか着ているんだなあ。

## 不思議な話

小松寅一郎さん

(昭和四年生まれ・三島町西方)

俺は事故で三回死につばぐった。そのたびに鬼子母神さまが出てくれた。俺は何も覚えてねえ。しかし、鬼子母神さまが「死ぬのは早い死んでられっか。死んではれっか」って言ってくれたのはびっくりと覚えてる。岩倉山の山頂のお堂にいらっしやるあのお姿のまんまだ。

前後はよくわからねえが、きれいな場所に行った。水あり、森あり、花あり。あんなきれいなところには行ったことねえ。すべてがきれいだから、うっとうして眺めてたら、景色を見られるようになったから、もう大丈夫だ」って、やさしい声が聞こえた。女の人の声だ。姿は見えねえが、鬼子母神さまだとわかった。それから元気がついてきた。

鬼子母神様はありがてえ。三度も助けてもらった。こんなありがたい神さまはいねえよ。

『会津物語』より抜粋

この写真は私のばあちゃんとママがたいまつあかしをしているところです。当時ママは二歳でした。今から三十六年前の写真です。じいちゃんからこの写真について話を聞きました。じいちゃんは当時三十一歳でした。「八木沢の神社において、神様が島根県の出雲大社に行くときに、たいまつを明るくして送ったつう話があった。出雲大社には全国の神様があつまんの。そこに行くときに灯りをたいて見送ったつて。何時(いつ)ついたらこの辺では中の九日だから、十月の末にたいまつあかしをやった。」

そういう由来があって、ばあちゃんとママをとった写真です。

じいちゃんの話聞いていて当時のことを一生けん命思い出すように話してくれたのでうれしかったです。

## 奥会津の食材と料理

### キュウリのころころジャム



盛んに食卓にぎわせたキュウリも、秋風が吹くころになると食傷気味になってくる。

そこで、大きくなり過ぎたキュウリはぶつ切りにして大鍋に放り込み、ザラメ糖と酢をふんだんに入れて火にかけ、水分がなくなるまでコトコトと煮込む。最後にレモンを振りかけると、飴色のしっかりした食感を持った、杏に似た味のジャムになる。そのままお茶請けにもよし、ヨーグルトのトッピングにも重宝だ。

## 暦に添う暮らし



大根の種まきとカラス除け

初冬に収穫する大根は今が種まきの時期。これを狙っているのがカラス。整えられた畝に白い木綿の糸を張り巡らして、カラスがいたずらするのを防ぐ。カラスは木の上から思案するが降りてはこれない。人とカラスの知恵比べだ。

## 子どものいる風景

写真・文 竹島 善一



石坂は地名のとおり急な坂道の両側に家々が連なっている。集落を見渡せる高所に、石坂の分校があった。撮影した35年前、5人の生徒がいたが、この日は私を見つけて野外授業になった。学校から下の田へ道端の野草を採取し、小さなお堂で子どもたちに語らせる。この分校で、私は六人目の生徒になって楽しく学ばせていただいた。普段の景色から学ぶ授業が生きていた。  
(昭和56年9月 柳津町石坂)

## 奥会津の生き物と草花

写真・文：新国 勇



### ミサゴ

ダイビングして魚を捕らえるタカ。ダム湖や大きな河川に生息。翼は細長く下面が白い。遠目にはカモメっぽく見える。爪はまるで恐竜のよう。つかんだ魚は逃がさない。養魚池の魚を襲い防鳥ネットにかかることがある。



### ミヤマママコナ

舌をかみそうな名前は、深山飯子菜と書く。奥山に生え、花唇にある二つの小さなふくらみをご飯粒に見立てた。全草が赤紫色になるものがあり、目につく。夏から初秋にかけて日当たりのよい乾燥した山道わきに生える。

# Q方言のズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「ハンテン」

ヒント：P2. 聞き書きをご参照下さい。

正解者の中から抽選で5名様に、昭和村の「からむし織コースター」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979  
奥会津書房 宛

●応募締切：2016年10月15日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号95号で発表いたします。



# 読者コーナー



- よかったのは表紙の写真。人が誰もいない、穏やかな明るさ。夏至の頃の早朝撮影されたのでしょうか。(新潟県阿賀野市 T.Mさん)
- 「取材ノート」を読んで、改めて平和の尊さを知った。(横浜市 M.Kさん)
- カカシの記事は、本当に人間が対話しているようで、おばさんの、おじいさんに対する愛情が感じられました。(本宮市 T.Sさん)
- なつかしいふるさとを思い出す表紙の写真に惹かれました。青臭い草の匂いがしてきそうです!(栃木県鹿沼市 K.Yさん)
- 93号ですね。ここまでの発行は並たいていではなかったでしょう。読んでいていつも心が温まります。(埼玉県 S.Gさん)

## 奥会津だよりの定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

## 奥会津振興センターからのお知らせ

### ～深まる秋を訪ねて～ 歳時記の郷 奥会津展

◇日時：10月4日(火)～10月9日(日) (最終日は16:00まで)

◇場所：東北電力グリーンプラザ アクアホール(仙台市)

奥会津の山々はその稜線から色づきはじめ、秋の深まりとともに渓谷を彩ります。その様は錦秋回廊ともいべき絶景の連続です。奥会津自慢の紅葉スポットを紹介。奥会津の産品や貴重な実演コーナーなどもございます。



主催：東北電力福島支店 問い合わせ先 奥会津振興センター 0241-48-5525

## 奥会津イベント情報

### 10月～11月

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
10月1日(土)～2日(日)	自然首都・只見水の郷うまいもんまつり	只見町	J R只見駅前広場	只見水の郷うまいもんまつり実行委員会(只見町商工会内) ☎0241-82-2380
	伊南武道館少年剣道大会	伊南地域	伊南武道館・伊南地域交流センター	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
	さいたま市南会津町親善ソーデーマーチ	館岩地域	館岩地域	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
10月2日(日)	自然首都・只見トリムウォーク&トリムラン&湖岸マラソン	只見町	只見湖周辺	只見トリムウォーク&トリムラン&湖岸マラソン実行委員会(只見町商工会内) ☎0241-82-2380
10月8日(土)	第5回会津やないづ赤べこまつり	柳津町	ほっとinまちなか周辺	柳津町地域振興課観光商工班 ☎0241-42-2114
10月9日(日)	人形塚供養祭		福満虚空蔵菩薩圓藏寺	柳津観光協会 ☎0241-42-2346
	大博多山秋の山開き	伊南地域	奥会津博物館伊南館前受付	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
	うた*たねフェス	南郷地域	会津高原南郷スキー場	南郷うた*たねフェス実行委員会 nango.utatane.fes.info@gmail.com
10月15日(土)	第7回伊南川100kmウルトラ遠足	伊南地域	伊南総合支所前スタート・ゴール	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
	たていわ裁ちそばキャンペーン	館岩地域	館岩地域	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
10月15日(土)～16日(日)	第12回会津の編み組工芸品展	三島町	三島町交流センター山びこ	三島町生活工芸館 ☎0241-48-5502
	第6回ものづくり再光		三島町生活工芸館2階大工芸室	
10月16日(日)	伊南川あゆまつり～秋の収穫祭	伊南地域	古町農村公園	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
	ゴーマン杯南会津ふるさと健康マラソン大会	館岩地域	館岩グラウンド	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
10月22日(土)	南郷新そばまつり	南郷地域	会津高原南郷スキー場	南会津町観光物産協会南郷観光センター ☎0241-64-5811
10月22日(土)～23日(日)	奥会津ごっつおまつり	金山町	金山町中川 町民体育館周辺	金山町役場産業課 ☎0241-54-5327
	第18回昭和村秋味まつり	昭和村	道の駅からむし織の里しょうわ	昭和村秋味まつり実行委員会 ☎0241-57-3700
10月23日(日)	前沢曲家まつり	館岩地域	前沢集落	前沢景観保存会 ☎0241-72-8977
	たのせふるさとまつり		たのせふるさと公園	たのせふるさとづくり会 ☎0241-78-2527
10月28日(金)～30日(日)	第13回全国ほんもの体験フォーラム I N福島・奥会津	只見町	南会津郡4町村	全国ほんもの体験フォーラム I N福島・奥会津実行委員会(みなみやま観光(株)内) ☎0120-915-221
10月29日(土)～11月12日(土)宿泊まで	第3回山人・新そば祭り	檜枝岐村	檜枝岐村内(旅館・民宿)	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
10月30日(日)	第5回がしゃ猫トレッキング大会	三島町	志津倉山	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
11月上旬	古町の大イチョウライトアップ	伊南地域	旧伊南小学校	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
11月4日(金)～5日(土)	檜枝岐の新そばを味わうタベ	檜枝岐村	東雲館	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
11月12日(土)	第24回只見新そばまつり	只見町	季の郷 湯ら里	季の郷 湯ら里 ☎0241-84-2888
11月13日(日)	第9回会津柳津新そばまつり	柳津町	やないづふれあい館	柳津町商工会 ☎0241-42-2552
	おたに新そばまつり	三島町	大谷活性化センター	事務局 ☎090-6781-7706
11月23日(水・祝)	こぶし館新そばまつり	金山町	道の駅奥会津かねやま	道の駅奥会津かねやま ☎0241-55-3335



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)  
発行日：9月15日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525  
http://www.okuaizu.net ☐webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。